



555 Vibhavadi-Rangsit Road, Chatuchak Bangkok 10900 Tel. 0 2553 8111, Fax : 0 2553 8222

プレスリリース / PRESS RELEASE

第 154/2567 (Aor. 72) 号

2024 年 11 月 7 日

BOI タイの部品メーカーの EV サプライチェーン参入を積極的に推進 GAC AION と提携し「AION Sourcing Day」を開催

BOI は、中国の大手電気自動車メーカー GAC AION と提携し、「AION Sourcing Day」での商談を通じて、タイの部品メーカーを EV サプライチェーンに参入させる取り組みを加速しています。これにより、タイを ASEAN における一大電気自動車製造拠点へと強化することを目指しています。74 社が商談を行い、国内での部品取引額がさらに 22 億 5000 万バーツ以上増加すると見込まれています。

投資委員会 (BOI) のナリット・テートサティエラサック長官は、2024 年 (仏暦 2567 年) 11 月 6 日、BOI と BOI から投資奨励を受けている大手電気自動車メーカー GAC AION が、バンコクのラマガーデンズホテルにて「AION Sourcing Day」を共催したと発表しました。このイベントは、今年 7 月に工場の操業を開始した同社の電気自動車生産ライン用に国内部品メーカーから部品を調達することを目的としています。同社は、このイベントでは、内装部品、外装部品、電気・電子部品、シャシー部品、車体部品、トラクションモーター部品、バッテリー部品の 7 つの主要部品グループに焦点を当てており、国内の 220 社から 400 名以上の部品メーカーが参加しました。このうち、74 社が GAC AION との個別商談を実施し、国内での部品取引額は 22 億 5000 万バーツを超えると見込まれています。

アイオン・オートモビル・マニュファクチャリング (タイランド) 社は、中国の大手電気自動車メーカーである GAC グループの子会社で、累計販売台数は世界で 250 万台を超え、フォーチュン・グローバル 500 では世界 165 位にランクインしています。GAC AION は、初の海外生産拠点をタイに設立するため、ラヨン県のアマタシティ工業団地に 56 億バーツ以上を投じました。第 1 フェーズでは 13 億バーツを投じ、バッテリー式電気自動車 (BEV) の年間生産能力 2 万台を目標にしています。今後もタイでの投資拡大を継続する計画で、現在、タイのオフィスを ASEAN 地域の統括本部 (Regional Headquarters) としても活用しています。

「今回のイベントは、タイの電気自動車産業の発展における BOI と GAC AION の協力関係を改めて強調するものであり、特にタイ国内の自動車部品メーカーが EV のサプライチェーンに

参入するための機会を提供します。国内での部品調達、生産受託、技術移転、外国企業との合併など、多方面にわたる連携が行われることで、すべての関係者にとって有益な成果が期待されます。GAC AION にとっては、すでに世界的な自動車メーカーと取引実績のある、品質と基準を備えた、さらに、GAC AION の工場近隣に位置する国内のサプライヤーと出会う機会となり、効率的な生産と物流コストの削減も可能になります。一方で、タイ企業は、最新技術を習得し、ビジネスチャンスを増やし、海外のトップ企業の投資から十分な恩恵を受けることができるでしょう」とナリット氏は述べました。

AION オートモービル・マニュファクチャリング（タイランド）株式会社の代表取締役であるオーシャン・マー氏は、「GAC AION は、タイを東南アジア地域における電気自動車の製造、販売、輸出の中心地にしたいと考えています。そのため、電気自動車の製造だけでなく、部品やバッテリー、充電ステーションの製造も含む包括的な生産体制をタイで実現するため、タイに強固なサプライチェーン体制を整備し、タイの EV 産業を世界市場へと展開することを目指しています」と述べました。現在、GAC AION はタイ国内に 50 のショールームを展開しており、2025 年（仏暦 2568 年）には 100 店舗に増やす計画です。また、2027 年（仏暦 2570 年）までに 1000 か所の充電ステーションを整備する目標も掲げています。さらに、2025 年（仏暦 2568 年）半ばには AION V モデルの生産ラインの拡張にも着手する予定です。

「GAC AION は、タイにおける電気自動車産業の将来を確信しており、タイ政府の 30@30 政策を積極的に支援する意向を示しています。実際の行動を通じてタイの電気自動車産業を変革し、東南アジア地域の製造および輸出の中心地へと成長させることを目指しています。また、長期的な発展、相互利益、環境への配慮に重点を置いた開発理念に基づき、タイにおける拠点を拡大し、包括的なシステムを導入してさらなる発展を目指します。今回の Sourcing Day イベントは、タイの事業者が世界市場で成長するための支援を行うという GAC AION の強い意志を示すものです」とオーシャン・マー氏は述べました。

さらに、GAC AION は、タイの部品メーカーへの技術移転を含め、サプライチェーンの発展を重要な目標としています。現在、タイ国内で製造された部品を全体の 47% 以上使用しており、今後さらに国産部品の使用を増やしていく計画です。GAC AION がタイの部品メーカーを選ぶ主な理由は 3 つあります。(1) タイの部品メーカーが提供する部品は高品質で基準を満たしていること、(2) 特に大型の部品は輸入するよりも国内で調達したほうが輸送コストを削減できること、(3) 国内調達により、より迅速で便利なアフターサービスが可能となることです。

これまで、BOI は、電気自動車メーカー 5 社（BYD、NETA、MG、CHANGAN、BMW）と協力して「Sourcing Day」イベントを開催してきました。この取り組みにより、タイ国内の部品取引額が 450 億バーツを超えると見込まれています。

“BOI は全投資規模、タイと外国の両者を投資奨励する”